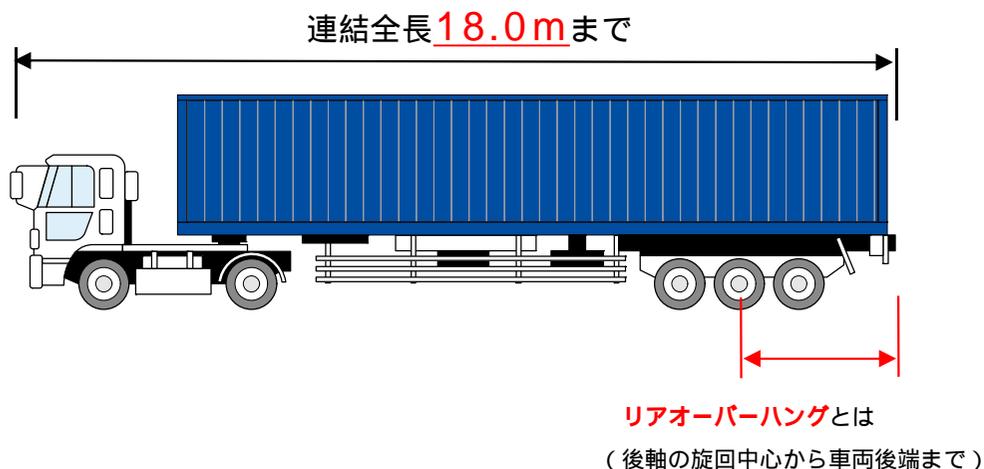


自動車運搬用車両に関する 特車通行許可基準の見直しについて

自動車運搬用車両に関する長さ規定の新設

積載物(自動車)をはみ出して運搬するなど自動車運搬用車両の特性を踏まえ、生産性の向上や働き方改革に資するよう、これまでのコンテナ運搬用車両等を想定した基準に加え、自動車運搬用車両を対象とする新たな基準を設定

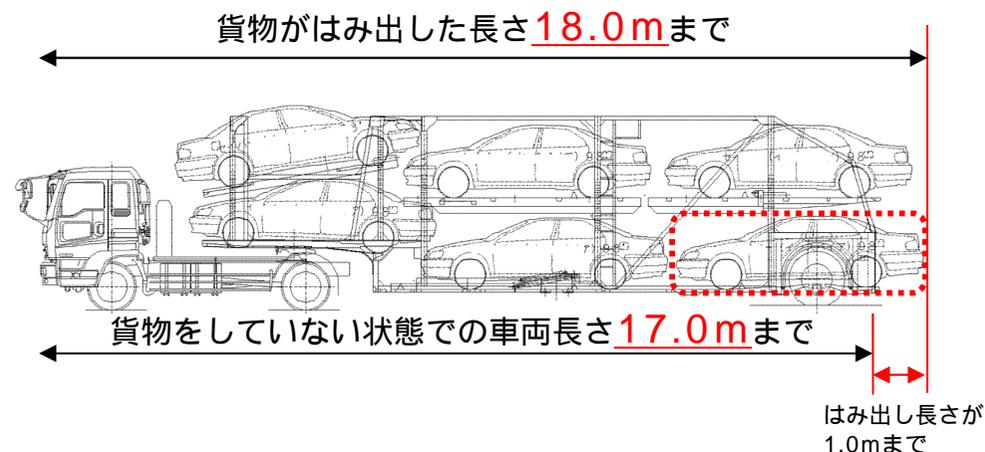
現行の規定



特例8車種のセミトレーラ連結車 17m
被けん引車のリアオーバーハングが
3.2mから3.8mまでの車両にあっては17.5m
3.8mから4.2mまでの車両にあっては18m

特例8車種
バン型、 タンク型、 幌枠型、 コンテナ用
自動車運搬用、 あおり型、 スタクション型、 船底型

【新設】自動車運搬用車両の規定(案)



貨物が積載されない車両の長さ 17m

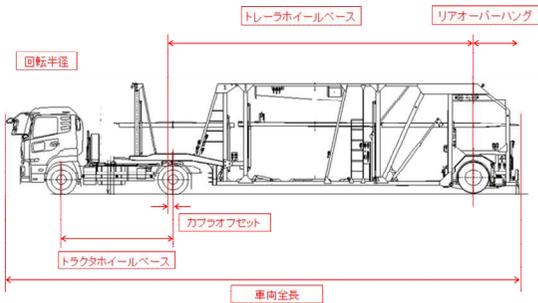
なお、貨物のはみ出し長さが1.0mまで可とする
(貨物のはみ出しを含めた車両長さは18mまで)

(参考) 自動車運搬用セミトレーラ 折進可否に関する現地確認

一定の条件の自動車運搬用セミトレーラの交差点折進について、外側線・停止線への接触や車両後部の隣接車線へのはみ出し状況について、国総研施設(交差点)において現地実証折進に伴う接触やはみ出しについて、安全に折進できる範囲内であることを確認

現地確認の概要

日時:平成30年10月29日(月)
 場所:国土技術政策総合研究所 実験走路
 使用車両 :トラクタ 日野 QPG-SH1EGDG
 トレーラ アロー ASRTC102
 陸送協会から提示された車両のうち、机上検証を踏まえ最も厳しい条件の車両を選定

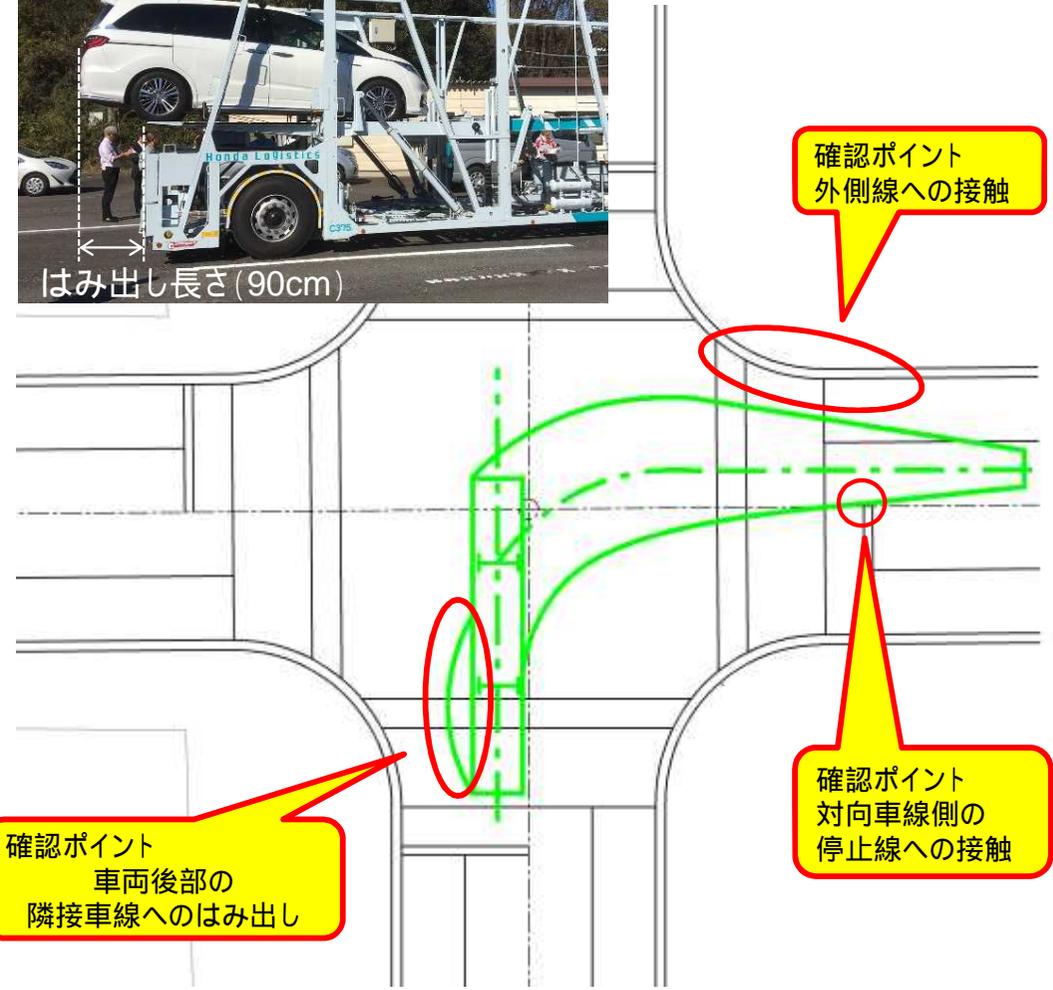


全長		16,915mm
トラクタ	回転半径	6,100mm
	全長	6,120mm
	ホイールベース	3,780mm
	カブオフセット	35mm
トレーラ	全長	13,890mm
	ホイールベース	10,250mm
	リアオーバーハング	1,540mm
	後輪軸数	1軸

使用車両の諸元



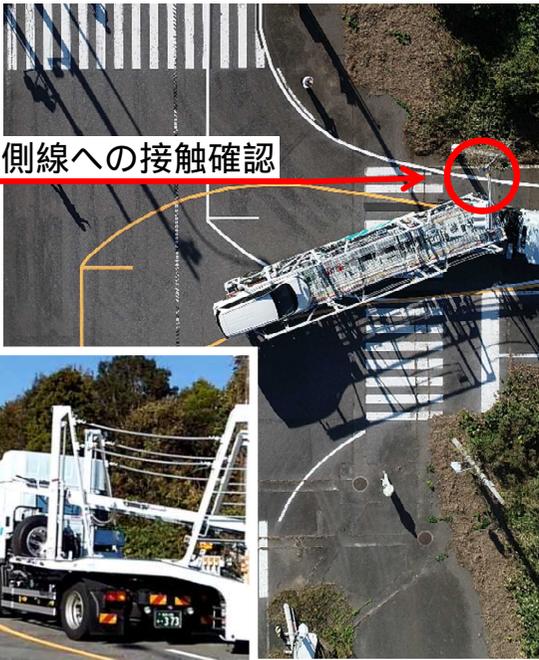
通行軌跡による確認ポイント



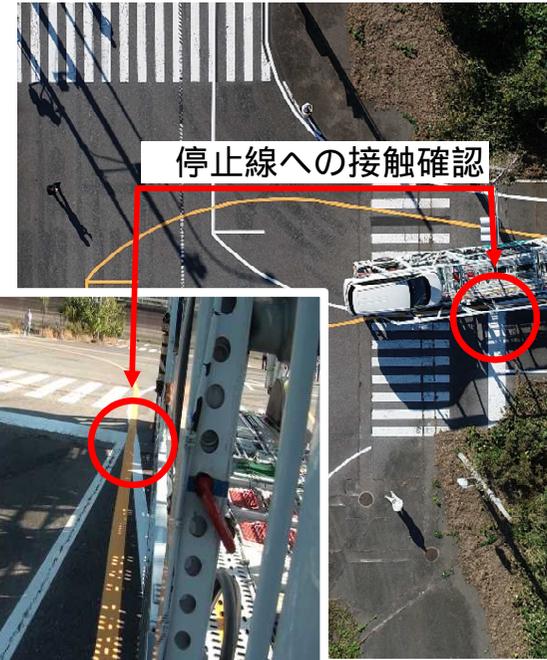
(参考) 現地確認の状況



隣接車線へのはみ出し確認



外側線への接触確認



停止線への接触確認